

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立鹿本小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	75.0%	75.0%
令和7年度の目標	60.0%	65.0%
令和6年度の結果	52.6%	50.0%
令和5年度の結果	55.2%	63.1%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	28.9%	21.1%
第5学年	53.2%	53.2%
第4学年	33.3%	40.7%
第3学年	44.8%	48.2%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究（国語）だけでなく「読みの三様態」の授業を行う単元では、授業観察やアドバイスをし合う。 単元ごとに探究的な活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストを年6回実施する。 年間通して、マスターバンビ（放課後）でベーシックドリルに取り組む。 毎週水曜日朝学習にて、ミライシードに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日学年×10+10分間は机に向かうように習慣付ける。 ドリルパークの活用をする。 5・6年生、毎週「よむYOMUワークシート」の実施。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> 交流活動を少人数にし、自信をもって参加できるように支援する。 ICT支援員の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ミライシードで苦手な学習の復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に声をかける。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」肯定的な回答70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト全学年平均正答率70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間1時間以上」の回答割合70%以上